

# 令和6年度補正予算 林業従事者等確保緊急支援対策のうち労働安全確保・経営力強化対策のうち林業労働安全確保対策事業の概要

## 1. 事業の目的



令和6年度補正予算  
林業従事者等確保緊急支援  
対策のうち労働安全確保・経営  
力強化対策のうち林業労働安全  
確保対策事業告知チラシ

総合的なTPP等関連政策大綱に即し、新たな国際環境のもとで、合板・製材・集成材等の競争力を高めることに加えて、豊富な資源量を有する森林資源を活用し、建築用木材等の供給力強化をはかることによる海外情勢の影響を受けにくい需給構造の構築をはかる取り組みが求められています。

このような中、伐採・造林等の施業を行う林業従事者等の人手不足・林業労働力の確保等が大きな課題となっており、労働安全確保、林業経営体の経営力強化の取り組みの推進がはかられています。

本事業は林業従事者等確保緊急支援対策として、認定事業主、選定経営体又は認定事業主若しくは選定経営体を取りまとめる地方公共団体、林業関係団体等に対し、安全で衛生的な職場づくりを通じ

た林業労働力の確保に向けた安全衛生装備・装置の導入や労働安全研修の実施を支援しました。

- 1) 【認定事業主】林業労働力の確保の促進に関する法律（平成8年法律第45号）第5条第1項に基づき、都道府県知事の認定を受けた事業主
- 2) 【選定経営体】経営体の育成について（平成30年2月6日付け29林政経第316号林野庁長官通知）に基づき、効率的かつ安定的な林業経営や森林経営の継続性の確保を目指す林業経営体として都道府県知事が選定した林業経営体
- 3) 上記1）、2）の認定事業主や選定経営体を取りまとめる地方公共団体、林業関係団体

### 目次：

1. 事業の目的
2. 事業概要と予算・申請者
3. 導入された安全衛生装備・装置の概要
4. 導入された安全衛生装備・装置利用者の見解
5. 林業労働安全衛生に関する研修の概要

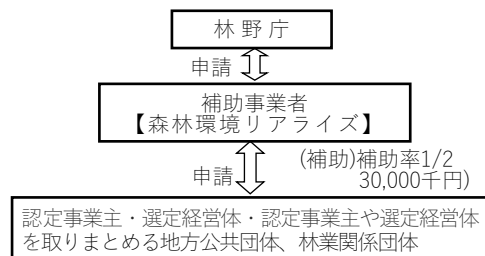
事業名：令和6年度 林業従事者等確保緊急支援対策のうち労働安全確保・経営力強化対策のうち林業労働安全確保対策事業  
監督機関：林野庁林政部経営課 林業労働・経営対策室  
補助事業者：(株)森林環境リアライズ

## 2. 事業概要と予算・申請者

### 1) 事業概要

認定事業主や選定経営体などを対象に、安全衛生装備・装置の導入及び労働安全衛生に関する研修をセットで行う経費の1/2補助を行いました。

事業期間は令和7年2月13日から開始して令和8年3月31日まで。



補助予算は30,000千円、1団体あたり事業費400万円以内（補助率1/2以内）

### 2) 申込の条件

- ・作業安全規範チェックシート
- ・環境負荷低減チェックシート
- ・安全診断の受診

### 3) 補助事業申請

応募件数と予算		
申込件数	95件（予定額の1.9倍の申込）	
交付決定数	56件（総事業費 62,051千円）	
内 訳	補助金額（1/2）	30,075千円
	うち導入品経費	29,200千円
	うち研修経費	875千円

選定した経営体の所在 選定した経営体の内訳



令和元年度から令和6年度に申請があった都道府県

交付先と件数（令和6年度）	
民間企業	33
森林組合・連合会	18
社団法人	1
企業組合等	2
その他	2

### 3. 導入された安全衛生装備・装置の概要

導入された防護装備品は、防護衣、防護ズボン・チャップス、防護ブーツ、フェイスガード・イヤマフ付ヘルメット、防護手袋、空調ウェア、通信機器、かかり木処理用エンジンウインチ、パワーアシストなどです。

令和6年度事業で導入された安全衛生装備・装置品の数と平均価格

安全衛生装備・装置品名	メーカー・種	導入数	導入平均価格
防護衣	5社 8種	29着	32,400円
防護ズボン (class1以上)	9社24種	281着	30,840円
チャップス (class1以上)	8社10種	26着	15,080円
防護ブーツ (level1以上)	10社17種	205足	38,300円
ヘルメット (フェイスガード・イヤマフ付)	6社 7種	348個	27,300円
防護手袋 (防振・耐切創)	8社 8種	309双	3,900円
空調ウェア (インナー等付属品含む)	10社21種	775着	13,100円
レインウェア (目立つ色合い)	8社11種	113着	15,900円
通信機器	6社 6種	158機	61,100円
エンジンウインチ (滑車・ロープ等含む)	3社 3種	6機	356,000円
繊維ロープ	7社 7種	17件	232,800円
冷凍保冷機 (付属品含む)	1社 1種	3機	48,800円
パワーアシスト	1社 1種	42着	44,000円



林業用の目立つ色合いの防護衣



防護ズボン (class1以上)



防護ブーツ (Level1以上)



フェイスガード・イヤマフ付ヘルメット



イヤマフ型無線機

令和元年～令和6年まで導入された上記以外の安全衛生装備・装置 (参考)

保護帽 防護衣等	ヘルメット用イヤマフ	その他	伐倒補助装置 (ガイドレーザー)
	ヘルメット用空調機		研磨機
	蛍光ベスト		衛星携帯電話
	レインウェア (目立つ色彩)		測量機器 (付属品含む)
伐木 造林 資材等	電動チェーンソー		熱中症ウォッチ・見はり計
	電動刈払い機		パルスオキシメータ
	手動ウインチ		スマートウォッチ (緊急発信装置付き)
	機械式クサビ		研修用小型動画撮影カメラ
	繊維ロープ		燃料缶 (消防法適合品)
	ハーネス/ランヤード		救急セット
	植栽用電動ドリル		自動体外式除細動器 (AED)
	植栽補助機 (ディプル等)		簡易衛生トイレ
昇柱機・梯子	その他 (保冷库・蓄電池等)		

令和元年～令和6年まで導入された安全衛生装備・装置トップ5

区分	装備品名	計	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
防護ズボン (着)	防護ズボン	2,549	281	283	948	571	466	
防護靴 (足)	防護ブーツ	1,336	217	164	427	234	185	109
ヘルメット (個)	フェイスガード・イヤマフ付き	2,481	348	267	500	393	900	73
空調ウェア (着)	バッテリー・インナー含む	3,092	775	333	479	474	768	263
手袋 (双)	防振・耐切創	1,245	309	294		428	205	9

## 4. 導入された安全衛生装備・装置利用者の見解

### 1) 防護ズボン

防護ズボンの導入数の多い製品は、モンベル及びトーヨ (TOYO)製品で価格的に安価で、はきやすい製品が数多く導入されています。

ズボンのサイズ感は、各メーカーとも普通のズボンのサイズと変わらないと言う意見が多くある一方、Husqvarna、Sthil、Pfanterは少し大きめ、モンベルは少し小さめという評価があります。

履き心地・装備感は、通気性・換気を考慮したべ

ンチレーションや、伸縮を考えた縫製など海外製品のきめ細やかな工夫が高い評価を受けています。

他方「重く軽量化を望む」「伸縮性が悪くストレッチが欲しい」「ズボンの裾を短くしてほしい」などの意見がありますので、試着したあとに購入する必要があります。



通気用ベンチレーション

### 2) 防護ブーツ

防護ブーツは「滑る・蒸れる・足首が窮屈」などの見解で普及が遅滞していましたが、製品の改良が進み普及が進んでいます。防護長靴 (ラバーブーツ) の導入は20%以下で、ブーツの導入が主流になりつつあります。

製品的にはPfanterチェーンソープロテクションブーツダブルボア、SIPスーパーフォレスト、Husqvarnaレザーブーツテクニカル24が価格は割高ですが、軽量で足首の負担が少ないなどで導入が進んでいます。

他方、価格的には安価なHusqvarnaレーザーブーツクラシック20の導入数も多くありますが、このブーツは平地林業用で山間地では「滑る・足首が安定しない」などの評価がありますので、使用する環境に応じた防護ブーツの選択が必要です。

靴のサイズ感は、Husqvarna及びアーポテックの製品は、普段履いている靴のサイズと変わらない。

Pfanter及びSIP社製品は少し大きめ、モンベル防護ブーツ及び大同石油社の防護長靴は、先芯と足首が狭く、履き慣れるまで少し時間を要するとの意見があります。

履き心地・使用感は「予想以上に歩きやすい」「斜面で踏ん張りがきく」「足首が固定され安定する」という意見が多くあります。

他方、「履き慣れるまで時間がかかる」「指の自由度がなく斜面で力が入らない」「暑い日は蒸れる」などの意見もあります。しかし、履き慣れると地下足袋や長靴に戻れないと言う意見が多くあります。



山岳地林業用  
Husqvarnaレザーブーツ  
テクニカル24



平地林業用  
Husqvarnaレザーブーツ  
クラシック20

### 3) ヘルメット及びイヤマフ・フェイスガード

ヘルメットは、フェイスガード・イヤマフ付きヘルメットの導入がほとんどで、イヤマフなどを後付けするタイプの導入はごくわずかです。

導入が多い製品はPfanter protos、HusqvarnaテクニカルH300、モンベルロガーヘルメット、東洋物産トーヨーセーフティなどです。

製品の評価はさまざまで「バランスが良く首に負担がかからない」「フェイスガードが見やすい」「イヤマフがヘルメット内に収納できるので山林内

の移動で邪魔にならない」「通気性が良く蒸れない」という高評価の製品が数多く普及しています。

他方、「フェイスガードが作業中に落ちる」「降雨時にフェイスガードの視界が悪い」「フェイスガードに太陽光が当たると光って見えない」「イヤマフ取り付け部の破損が早い」「前部が重く終日使用すると疲れる」という製品もあり、使用者の情報を確かめてから導入する必要があります。



HusqvarnaテクニカルH300



Pfanter protos



トーヨーセーフティ



共立マルチセーフティ



モンベルロガー

## 5. 林業労働安全衛生に関する研修の概要

労働安全衛生に関する研修は、安全衛生装備・装置の導入とセットで実施することが必須となっています。

研修会は導入した安全衛生装備・装置の地域への普及とともに、研修をとおして林業労働災害の撲滅を目的としています。

このため、研修会の開催は地域の多くの林業経営体や行政機関の参画を得て開催しています。

令和6年度に事業採択を受けた経営体が実施した研修会は56件、研修参加者は1,426人で、都道府県・市町村の森林・林業関係者のほか、国有林野の森林管理署（支署）、労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会支部など、数多くの行政機関等が参加しています。

本事業の研修会は、経営体の創意工夫により地域で望まれている研修を実施しているもので、例年の参加者は1,000人を超えています。森林・林業事業において、これほどの参集規模の研修会の実施はなく、本事業の大きな成果となっています。

令和5年以降の研修会開催状況は、林業技能検定に対するチェーンソー1級及び2級相当の安全伐木作業講習会が全国で広く開催され始めています。

また、高齢者の安全対策やメンタルヘルス・セルフケア・ラインケアなど、ストレス耐性向上や組織の心理的安全性の講習会も行われています。

令和6年度事業で実施された研修会

		研修内容	件数
座学		林業労働安全講習会	7
		VRシュミレーターによる安全講習会	10
		リスクアセスメント研修	6
		安全な伐倒技術講習会	1
		導入品の使用と管理研修	5
		熱中症対策講習会	5
		救命救急法講習会	2
		認知機能強化トレーニング講習会	1
		ポジティブ思考講習会	1
	実技		伐木技能講習会
		かかり木処理講習会	1
		伐木技能ウインチ・ロープワーク研修	1
		導入品の使用と管理講習会	2
		測量方法・施工管理の安全講習会	1
		救命救急法講習会	5
		防護ブーツの山の歩き方講習会	2
		アシストスーツ実証研修会	1
		無線機の使用と管理講習会	2
		計	56



チェーンソー安全伐木講習会（広島県）



かかり木処理実践研修（静岡県）

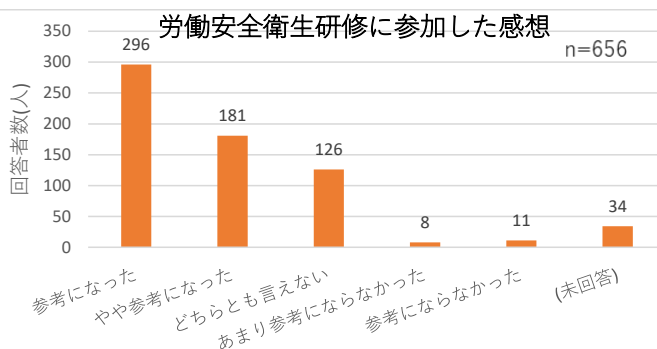


林業労働安全講習会（宮崎県）

研修会の開催に伴いアンケート調査を行っています。アンケートの回収率は46%です。

研修会に参加した感想として「参考になった・やや参考になった」は73%と高い評価を受けています。

今後、どのような林業労働安全衛生に関する研修があれば良いと思いますかの問いでは「労働災害の発生状況と対策などの研修（座学）」「新規参入者を対象とした安全な作業に関する研修（座学・実技）」、第3位に「チェーンソー操作技能の研修（実技）」があげられていますので、今後の林業労働安全衛生に関する研修会を企画する場合の参考としてください。



どのような林業労働安全衛生に関する研修があれば良いと思いますか

		1 番目	2 番目	3 番目		
第1位	労働災害の発生状況と対策などの研修	231件	安全な林業機械操作などの研修	82件	伐木や林業機械・シュミレーターを使用した研修	99件
第2位	新規参入者を対象とした安全な作業に関する研修	84件	新規参入者を対象とした安全な作業に関する研修	81件	安全な林業機械操作などの研修	82件
第3位	チェーンソー操作技能の研修	55件	チェーンソー操作技能の研修	79件	チェーンソー操作技能の研修	65件